

在学中に受験可能な資格試験	資 格			試験（受験料は参考）					奨励度	大学での支援内容	問い合わせ先	備 考	
	資格名	概 要	種 別	受験資格	申 込	試験日	試験地	受 験 料					合格率（全国）
食品衛生管理者	食品衛生法の規定された、製造又は加工の過程において特に衛生上の考慮を必要とする食品又は添加物を製造又は加工を行う営業者は、その製造又は加工を衛生的に管理するため、その施設ごとに、専任の食品衛生管理者を置かなければならないこととなっています。		法律で規定される資格または所定の学校、養成施設を修了したのちに、該当の製造・加工施設で3年以上の実務経験が必要。							A*	学生便覧参照	厚生労働省医薬食品局食品安全部 企画情報課指導係 〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2 TEL：03-5253-1111（代表）内線2492 厚生労働省（食品衛生管理者） HP：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000049348.html 〈学内〉大能	本学科は養成施設に認定されているため、指定の科目を習得すれば、実務経験を経た上で取得することができる。
食品衛生監視員	食品衛生監視員とは、厚生省により認定される資格で、食品衛生法に規定された食品に起因する食中毒などの防止や食品衛生に関する危害を防止するために、営業施設の立ち入り検査・指導を行う国や地方自治体等行政機関の職員（公務員）のこと。国（海港・空港の検疫所）および保健所を設置する自治体に置くことが義務づけられている職種です。		公務員試験を受験する。検疫所の場合は国家公務員食品衛生監視員採用試験、保健所の場合は地方公務員採用試験を受験することが必要。	人事院・都道府県の採用情報参照	人事院・都道府県の採用情報参照	人事院・都道府県の採用情報参照				A***	学生便覧参照	人事院または都道府県国家公務員採用情報NAVI HP：https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html 〈学内〉大能	「食品衛生管理者及び食品衛生監視員」認定のための科目を修得する必要がある。
食品衛生責任者	食品の安全を確保するために、営業施設の衛生管理や従事者の衛生教育等を行うために必要な資格です。食品衛生法による許可が必要な営業施設及び条例による届出等が必要な施設には資格を有する食品衛生責任者を設置することを義務付けられています。		中学卒業者	問合せ先へ	問合せ先へ	都道府県ごと	問合せ先へ			B*	食品倫理、食品衛生学、食品安全学、微生物学など関連する内容の授業が開講されている。	各都道府県の公益社団法人食品衛生協会 （公社）福井県食品衛生協会 福井支部 〒918-8540 福井市西木田2丁目8-8 （福井健康福祉センター内） TEL：0776-36-1118 （公社）福井県食品衛生協会 HP：www.fukui-syoku.jp/ 〈学内〉大能	食品衛生協会が主催する養成講習会を受講し、修了試験に合格すれば取得できる。また、本学科で指定の科目を習得し卒業した場合に取得可能である食品衛生管理者を有する者は、食品衛生責任者となることができる。
食品安全検定	食品安全検定は、食の問題を科学の力で解決していく力を養い、より安全な食文化の創造に寄与する人材を育成するためにつくられた検定です。	初級・中級	不問	問合せ先へ	問合せ先へ	問合せ先へ	問合せ先へ			B 中級：*	食品倫理、食品衛生学、食品安全学、微生物学など関連する内容の授業が開講されている。	（一社）食品安全検定協会 HP：https://fs-kentei.jp/ 〈学内〉大能	
食品表示検定	食品表示は、消費者が食品を摂取する際の安全性や自主的かつ合理的な食品選択の機会を確保できることを目的として、販売に供される食品に関して原材料や添加物、保存の方法、消費期限等の基準が法律で定められています。その食品表示についての知識を問う検定です。	初級：食品表示を理解し商品を選択したい消費者、食の生産・製造・流通の食品表示の初心者向け 中級：食品表示を理解する必要のある生産、製造、流通の現場の人材向け 上級：食品表示を食の生産、流通、製造において責任を持って行うための人材向け	不問	問合せ先へ	問合せ先へ	問合せ先へ	問合せ先へ	初級：約50% 中級：約40% 上級：約10%		B 初級：* 中級：* 上級：**	食品倫理の授業で食品表示についての説明が若干あります。	（一社）食品表示検定協会 〒102-0082 東京都千代田区一番町23番地3 千代田一番町ビル1階 TEL：03-5226-6737 FAX：03-5226-6723 （一社）食品表示検定協会 HP：https://www.shokuhyoji.jp/ 〈学内〉大能	食品表示に関する知識は、食品業界に就職する場合必要となるため、中級程度の資格を目指すが良い。また、検定に合格すると種別に応じた食品表示診断士の資格が授与される。
環境計量士	計量法に基づく国家資格の一つで、環境計量士は、大気、水、土壌などに含まれる有害物質の濃度や、環境中の振動・騒音の計測を行う。都道府県知事の登録を受け、環境測定結果の証明を行う環境計量証明事業所では、環境計量士の有資格者を置く義務があります。	濃度 騒音・振動	不問	10月	3月上旬	北海道 東北 関東 中部 近畿 中国 四国 九州 沖縄	8,500円	約15%		B***	本学科で開講されている化学や無機・有機化学などの化学系科目や基礎物理学などの物理系科目が、試験科目である物理学および化学を受験する上で参考となる。	計量士制度全般： 経済産業省産業技術環境局計量行政室 TEL：03-3501-1688 FAX：03-3501-7851 mail:keiryoushi-shiken@meti.go.jp 計量士国家試験： 日本運通（株）計量士国家試験係 TEL：0120-040-608 〈学内〉大能	国家試験に合格しても、直ちに環境計量士として登録できない。国家試験合格後、計量に関する実務経験1年以上、または環境計量講習（1週間）を修了するなど、所定の条件を満たす必要がある。

注)奨励度はAが最も高い。 * 1、2年でも受験でき、比較的取得しやすい資格

** 就職などに有利で3、4年前期に受験

*** 難度高く、優秀な学生にすすめる資格

在学中に受験可能な資格試験	資 格			試験 (受験料は参考)					奨励度	大学での支援内容	問い合わせ先	備 考
	資格名	概要	種 別	受験資格	申 込	試験日	試験地	受 験 料				
公害防止管理者	公害発生施設又は公害防止施設の運転、維持、管理、燃料、原材料の検査等を行うことにより、公害の発生を未然に防ぐ役割を担う企業における公害防止の責任者。法律で定められた「特定工場」では、公害防止組織を設置し、有資格者を置くことが義務付けられています。	大気(第1種-4種)、水質(第1種-4種)、特定粉じん、一般粉じん、騒音振動、ダイオキシン類、主任管理者 全13種	不問	7月	10月上旬	札幌市 仙台市 東京都 愛知県 大阪府 広島市 高松市 福岡市 那覇市	大気(第1種、第3種)、水質(第1種、第3種)、ダイオキシン類、主任管理者: 8,700円 大気(第2種、第4種)、水質(第2種、第4種)、粉じん関係、騒音振動: 8,200円	約25%	A ***	本学科で開講されている化学や機器分析などの化学系科目と環境科学などの環境系科目が試験科目に対応しており参考となる。	(一社)産業環境管理協会 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目2番1号 (三井住友銀行神田駅前ビル) 試験部門 公害防止管理者試験センター TEL: 03-5209-7713 FAX: 03-5209-7718 E-mail:shikenbu@jemai.or.jp (一社)産業環境管理協会HP https://www.jemai.or.jp/polconman/inquiry 〈学内〉大能	平成18年度から科目別合格制度が導入され、同一資格区分においては合格した年度から3年以内は合格した科目は科目免除となり、合格科目の積み重ねで資格を取得できるようになっています。また、所定の実務経験をjemaいすることにより、講習の受講及び修了試験の合格を持って資格を取得することもできる。
危険物取扱者	一定数量以上の危険物を貯蔵し、または取り扱う化学工場、ガソリンスタンド、石油貯蔵タンク、タンクローリー等の施設で、種別により指定された危険物について取り扱いと定期点検、保安監督するために必要な資格です。	甲種: 全危険物 乙種: 第1類~第6類 丙種: ガソリン、灯油、軽油、重油など	①大学等において化学に関する学科等を修めて卒業した者 ②大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した者 ③乙種免許を取得し、実務経験2年以上 他 乙・丙種: 不問	問合せ先へ	都道府県ごと (問合せ先HPで確認できます)	都道府県ごと	甲種: 6,600円 乙種: 4,600円 丙種: 3,700円	甲種: 約30% 乙種: 約45% 丙種: 約50%	A 甲種: ** 乙種: * 丙種: *	本学科で開講されている化学や無機・有機化学などの化学系科目や基礎物理学などの物理系科目が、試験科目である物理学および化学を受験する上で参考となる。	(一財)消防試験研究センター各道府県支部 及び関係機関・各消防本部 (一財)消防試験研究センターHP https://www.shoubo-shiken.or.jp/ 〈学内〉大能	受験資格にもある通り、本学科で化学系科目15単位以上取得していれば在学中でも甲種を受験することが可能である。
環境測定分析士	環境測定分析に関する知識・技能の向上を図り、環境測定分析に係る社会的信頼性を確保することを目的として設けられた資格です。	1級: 環境測定分析に関する高度な専門的知識、技術及び指導力を有していると認定された者 2級: 環境測定分析に関する専門的知識、技能を有していると認定された者 3級: 環境分析に関する基礎的知識を有していると認定された者	1級: 実務経験が5年以上並びに2級試験の登録証の交付を受けている者 2級: 実務経験3年以上並びに3級の認定証の交付を受けている者他 3級: 環境測定業務に従事している者又は環境測定分析に関心がある者	問合せ先へ	問合せ先へ	札幌 東京 仙台 名古屋 大阪 広島 福岡	1級: 20,000円 2級: 15,000円 3級: 7,000円		3級: *	本学科で開講されている化学や機器分析などの化学系科目と環境科学などの環境系科目が試験科目に対応しており参考となる。	(一社)日本環境測定分析協会 〒134-0084 東京都江戸川区東葛西2丁目3番4号 TEL: 03-3878-2811 FAX: 03-3878-2639 (一社)日本環境測定分析協会HP https://www.jemca.or.jp/ 〈学内〉大能	3級は、在学中に受験可能。1,2級は実務経験が必要であり、実技試験もあるため環境測定関係会社に就職後、必要に応じて取得することになる。
バイオ技術者	バイオ技術の進歩に対応して、「遺伝子組換え技術、細胞融合技術、増殖能利用技術並びに生物及び生物由来材料利用技術、そしてこれらを行うための安全管理に関する知識をもち、実際にバイオテクノロジーに適応する資質」を認定する資格です。	中級 上級	中級: 生命化学コース2年修了または修了見込みの者 上級: 中級合格者、生命科学コース3年修了見込みの者、卒業生または卒業見込みの者	問合せ先へ	12月	問合せ先へ	一般学生: 9,000円	中級: 約70% 上級: 約50%	B 中級: ** 上級: **	本学科食品バイオコースにおいて、試験の基礎となる科目が開講されている。	NPO法人日本バイオ技術教育学会 〒104-0033 東京都中央区新川12-3-11 共立ビル5F TEL: 03-6262-8601 FAX: 03-6262-8602 NPO法人日本バイオ技術教育学会HP http://www.bio-edu.or.jp 〈学内〉大能	
毒物劇物取扱責任者	毒劇物取扱責任者は、毒物又は劇物の製造業、輸入業又は販売業において必要な資格です。専門的な知識を基に、毒物又は劇物の貯蔵設備の管理や事故時の措置等の業務を行い、保健衛生上の危害の防止に努めることが業務です。	一般 農業用品目 特定品目	不問	問合せ先へ	問合せ先へ	都道府県ごと	10,500円	30%~ 40%	A 一般: ** 農業用品目: * 特定品目: *	本学科での化学系の科目や実験実習が試験に関するものとなる。資格要件の一つである「厚生省令で定める学校で、応用化学に関する学課を修了した者」に該当するため、本学科卒業後に申請により取得可能である。	各都道府県の主管課 〈学内〉大能	本学科を卒業すれば、卒業後に申請により取得できる。

注) 奨励度はAが最も高い。

* 1、2年でも受験でき、比較的取得しやすい資格

** 就職などに有利で3、4年前期に受験

*** 難度高く、優秀な学生にすすめる資格

全 学 年

在学中に受験可能な資格試験	資 格			試験（受験料は参考）					奨励度	大学での支援内容	問い合わせ先	備 考
	資格名	概 要	種 別	受験資格	申 込	試験日	試験地	受 験 料				
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	労働災害を防止するため、一定の有害な化学物質や四アルキル鉛の含有物を製造し、または取扱う作業を行う際に、従事する労働者の指揮その他厚生労働省令で定める事項を行う責任者です。		不問	問合せ先へ	問合せ先へ	問合せ先へ	10,450円	約95%	B*	本学科で開講されている化学系科目が、指定講習を受ける上で参考となる。	各都道府県の(公社)労働基準協会 (公社)福井県労働基準協会 〒910-0829 福井県福井市林藤島町20-1-3 福井県立福井産業技術専門学院内2F TEL：0776-54-3323 FAX：0776-54-3325 (公社)福井県労働基準協会HP www.fukuirouki.or.jp/lectures/ 〈学内〉大能	労働基準協会で行われている技能講習を受講し、修了試験に合格すれば取得できる。その他の技能講習として、「酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者」、「有機溶剤作業主任者」等が行われている。

注) 奨励度はAが最も高い。 * 1、2年でも受験でき、比較的取得しやすい資格 ** 就職などに有利で3、4年前期に受験 *** 難度高く、優秀な学生にすすめる資格